



問/能美ふるさとミュージアム (☎58-5250 ☎58-5251)

コラム

のみふる館内紹介

～テーマ展示室「能美の誕生 海から山まで。「能美」1200年のはじまり。」～

今回取り上げるのは、飛鳥時代から平安時代までの能美の人々の暮らしを紹介する「能美の誕生 海から山まで。「能美」1200年のはじまり。」の展示室です。

7月7日は七夕の日。笹飾りに願いごとを書いた短冊を下げたことがある方は多いのではないのでしょうか。市内でも、古代の人々が願いを込めて儀式を行った痕跡が見つっています。

この展示室に並んでいる、小長野C遺跡出土の文字や記号が書かれた墨書土器もその一つです。200点以上出土した墨書土器に書かれた文字は「福」や「吉」などの縁起の良いものが多く、「能美」と書かれた土器の欠片も見つかりました。文字が書かれたのは、西暦823年に加賀国が立国した、およそ1200年前の平安時代の初め頃と考えられています。加賀立国と同じ年、国内に4つの郡が置かれ、そのうちの一つが「能美郡」でした。「能美」という地名の誕生です。小長野C遺跡で見つかった大量の墨書土器は、およそ1200年前、新しく生まれた「能美」の地の繁栄を願った儀式を行った痕跡かもしれません。

七夕の短冊に願いを込める現代の我々と同じように、平安時代の人々が願いを込めた墨書土器。今も昔も変わらぬ人々の思いを、ぜひ、実物をご覧になって感じてみてください。



テーマ展示室「能美の誕生 海から山まで。「能美」1200年のはじまり。」

NEWS

「のみふる ほたるまつり」を開催しました!

6月18日(土)、のみふる賑わいイベント「のみふる ほたるまつり」を開催しました。プラバン(プラスチックの板)作り体験やホテル観察などを行った大人から子どもまでの多くの方で賑わいました。



市内遺跡の出土品などの図をなぞってオリジナルのプラバンを作りました



ホテル観察会では講師の先生にホテルの生態についてもお話いただきました



「目指せ1200コメント!能美のいいところ!こんなところ!」では、参加者にノナシヨウプを配布しました

昭和の居間の再現展示もあるよ!



能美太郎くん

夏季企画展「能美の昔のごはん～太郎くんの自由研究～」

今と昔の食の違いって?「能美の食文化」について夏休みの自由研究で調べることにした、能美太郎くん。太郎くんと一緒に、旧石器時代から昭和までの食の移り変わりを見てみましょう。

▶会期 7月24日(日)～9月25日(日) ▶観覧料 無料

※会期中、オリジナルグッズがもらえるクイズラリーも開催!(景品がなくなり次第終了)

未来につなぐお人柄



エス!エス!エスディーズ
SDGs

問/企画デジタル課SDG s推進室
(☎58-2220 ☎58-2291)



SDGsってなんだろう?

SDGs (Sustainable (サステイナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

目標 15 陸の豊かさを守ろう



『陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう』



松松レンジャーズってかっこいいだ〜!

私たちの身近な取り組みが、実はSDGsに貢献していることがたくさんあるのね。



SDGsについて学ぶ1年生



大浜町の松林で落ち葉集めをする生徒たち

私たちのまちを守る 根上中学校『松松レンジャーズ』

なぜ海岸の近くに松林があるのかを知っていますか?

松林は海からの強い風を防ぐことで、住宅の損傷や、塩分を含んだ砂の飛散により農作物が枯れる被害から守ってくれています。しかし、松の木は、剪定や落ち葉集め、下草の除去などの手入れをしないと、弱り、松食い虫などの被害で枯れてしまいます。

根上中学校の生徒たちは根上海岸の防風林として植えられた松林の保全を、平成22年から地元の「高坂・根上町緑を守る会」や「森林連合会」のサポートを受け、代々受け継ぎながら行っています。生徒たちは「松松レンジャーズ」として、松林の保全が地域に果たす役目などについて地元の方から話を聞き、松林の保全活動を実践しています。

今年の1年生はSDGsを学んだことにより、防風林の保全活動がSDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」や、目標15「陸の豊かさを守ろう」などのゴールにつながっていることに気が付き、難しいと思っていたSDGsをより身近に感じるようになりました。またSDGsの達成期限である2030年に向けて、地域のために今、自分ができることについて聞いたところ「地域のボランティアに参加する」「市の魅力について詳しく知る」など、さまざまな意見が出ました。

松松レンジャーズのような活動が継続しているおかげで能美市の豊かな地域が守られています。

予告のみSDGsホームページまもなくオープン!

市内外へのSDGsの普及啓発に向け、専用サイト「のみSDGsホームページ」を開設します。SDGsの取り組みを分かりやすく伝え、SDGsの取り組みを行っている方々のお人柄や思いが伝わるホームページを目指し、7月下旬の公開を予定しています。

発信内容は市がSDGsで目指すまちづくりの指標や地域・教育機関・企業などのSDGsの取組情報、のみSDGsパートナーズの紹介などです。SDGsを通して市の魅力を発信し、多くの人に地域への愛着を深めてもらえるように内容を充実していきます。





いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

文：いしかわ動物園

■特別展「とび出すどうぶつ展」

7月6日(水)から10月24日(月)まで、動物学習センターで標記タイトルの特別展を開催します。いったい何の動物がとび出すのか…、それは見てのお楽しみです。今回の特別展では、実際にお客様に動かしてもらう仕掛け展示物も登場します。試行錯誤を繰り返しながら職員自ら作り上げましたので、ぜひたくさんの方に楽しんで、学んでいただければとても嬉しいです。

話は変わりますが、皆さんはカメレオンがエサを食べる瞬間を見たことがありますか?カメレオンといえば、エサとなる昆虫を食べる際に舌を伸ばして捕らえる姿が特徴的です。主食は昆虫ですが、種類によっては葉物や果物なども食べるんですよ。当園でもココロゴキや小松菜などを与えています。

この春、動物学習センターにエボシカメレオンの赤ちゃんが仲間入りしました。赤ちゃんの頃は毎日たくさんのエサを食べるので、捕食の様子を観察するのはもってこいです。この夏は「とび出すどうぶつ」に驚いて、カメレオンにも詳しくなれる、絶好のチャンスですよ。



エボシカメレオンの赤ちゃん

いしかわ動物園フォトコンテスト2022【作品募集中】

今年度は新たに「スマホ・データ部門」を設けました。動物園にいる動物のかわいい姿や面白いくさ、愉快な行動など、一瞬をとらえた素晴らしい作品をお気軽に応募ください。どなたでもご応募いただけます。

募集期間 9月30日(金) 必着



詳しくはこちら

みんなの図書館

※開館時間、休館日については、市立図書館ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

おすすめの一般書



エクアドール

滝沢志郎 [著] 双葉社

大航海時代、愛する島と人を守るために命懸けの船旅に出た琉球人たちがいた。日本に鉄砲が伝来する戦国期直前の時代を舞台に、男たちの熱き戦いと永遠の友情を描く歴史冒険小説。

おすすめの児童書



本おじさんのまちかど図書館

ウマ・クリシュナズワミー [作] フレーベル館

ひとりの女の子が社会を動かす! インドの街で小学校に通うヤズミンの楽しみは、まちかど図書館で本を借りること。ところがこの図書館が続けられなくなり…。読書の力、選挙など、これからの時代に大切なテーマを描いた物語。

おすすめの絵本



プールのくまのこ

種村有希子 [作・絵] アリス館

夏休みの朝の庭。水が入った、お気に入りのお模様のプールで遊ぶとする女の子。プールの中をのぞいてみると、いろいろな色のくまたちが泳いでいて…。美しい色彩で子どもの世界をいきいきと描いた絵本。

夏の読書スタンプラリー

期間 7月16日(土)～8月31日(水)

対象 市内在住の小学生以下の方

本を借りると台紙にスタンプを押します。スタンプ30個で手作りプレゼントと交換します。台紙は各図書館にあります。



情報発信元 K A M能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

【入館料】一般 430円・75歳以上 320円・高校生以下無料 ※浅蔵五十吉記念館もあわせて入館いただけます。

【問い合わせ】☎ 58-6100 ☎ 58-6086 ※月曜休館

ご来館の際は、基本的感染対策(マスク着用・検温・手洗いなど)にご協力をお願いします。

今月のイッピン! 「永楽和全 呉須赤絵雲鶴文蓋付深鉢」

永楽和全は千家十職の土風炉・焼物師永楽家12代善五郎のことで、江戸末期から明治にかけて京焼の工名として活躍しました。九谷焼の指導者として大聖寺藩から招聘を受け、一族郎党12名を引き連れて京都から加賀山代へ来たのは、慶応元年(1865)のことです。山代には吉田屋、宮本屋の窯を継いだ藩宮九谷本窯が藩産物方のもとで稼働していましたが、製造が思うようにならず、藩から管理を委託されていた藤掛八十城と三藤文次郎は技術面で行き詰まり藩の学者 東方芝山に相談をしました。芝山は藩内有数の産物九谷焼などを江戸・京・大坂の三都に売り込み、藩財政を豊かにすることを藩主に建言していました。藩は山代の陶工木崎万亀に京にて永楽のもとで弟子として修行することを命じました。帰藩後、万亀は山代春日山に築窯を許されましたが、九谷本窯の再興には永楽の招聘が必要と訴えました。藩内北前船主の西野小左衛門は文人として永楽と親交があったことから招聘に尽力するなど、多くの加賀の人々が関わって九谷本窯の指導者として永楽の招聘が実現しました。永楽は中国明代の陶磁器の写しを得意としていました。金欄手はその代表格で今は九谷の金欄手を「永楽」と呼んでいます。当該作品のような呉須赤絵写しも見事です。明治3年(1870)に帰京するまで足かけ6年間、九谷焼の技術向上に力を注いでくれました。当該蓋付深鉢は、洒落な絵付けもさることながら薄造りで狂いのない素地も見どころのイッピン!なのです。(文・五彩館館長 中矢)



永楽和全 呉須赤絵雲鶴文蓋付深鉢

サイズ 口径20.5/高14.5cm

制作 永楽和全

年代 1823(文政6)～

1896(明治29)年

所蔵先 K A M能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

■日本現代工芸石川展 能美巡回展

期間 ～7月24日(日)まで

会場 「五彩館」紫の間・緑の間・ロビーギャラリー

■能美市美術作家協会 絵画部展

期間 7月27日(水)～8月7日(日)まで ※最終日は16時まで

会場 「五彩館」ロビーギャラリー (入館無料)

INFO

今月の手話

問/福祉課 ☎ 58-2230 ☎ 58-2294

手話表現：のみ商業協同組合 南山 亜希子さん (手取スポーツ)

野球



① - 1、2

左手の親指と人差し指で作った輪(球)を右手の人差し指(バット)で打つ。



選手



① - 1、2

手の平を下に向けた左手の甲に、親指だけ伸ばして握った右手を打ち下ろし、左へ跳ね上げる。



動画で「甲子園を目指す野球選手を、応援しましょう」の手話表現をご覧ください。ぜひ、アクセスしてみてください♪



手話動画 配信中



わたしとこの町

File70 和気町



5月11日、物見山グラウンドゴルフ場でイベントを楽しむ参加者たち

私は今年の2月から和気町老人会の会長を務めています。会員数は約150人ですが、最近では70歳を超えて働いている方もいるため、会員数に比べ、行事の参加者数は、ぐんと減ってしまっています。私は以前から老人会の会員でありましたが、町会やお宮、寺などのお世話をしていたため、老人会の行事にはあまり参加してきませんでした。そこで会長になったことを機に、活気ある老人会にしたいと考え、高齢者の外出機会を確保することや身体を動かすきっかけをつくることを目的に、行事な

を計画しています。しかし、コロナ禍で活動が制限されるので、四苦八苦しています。その中、三密を避けるなどの感染対策を講じた上で、5月にグラウンドゴルフのイベントを開催しました。参加者の皆さんは久しぶりに外で運動ができたので、笑顔で楽しんでいました。新型コロナウイルスが落ち着き、もっと活動しやすくなることを願っています。趣味はブドウの栽培です。畑の一角でブドウを栽培し始めたことがきっかけで、現在は小さなハウスを設け、育てています。時期を見てブドウの房を3分の1に剪定



6月1日に撮影した巨峰栽培しているブドウの品種は巨峰とマスカット

し、粒は30粒ほどにします。花が満開になるタイミングで、種無しにする処理を行います。完成したブドウは近所の人にも分けていて、おいしいと言ってくれると嬉しいものです。

4年前、大雪でハウスが壊れ、建て直しました。また一昨年は獣害により、ハウスが破られたため補修し、鳥獣を捕獲する免許を取りました。さらに電気柵も設け、獣害対策をしています。このように苦労をかけているからこそ、完成したブドウは、よりおいしく感じるのだと思います。これからもおいしいブドウ作りを続けていきたいです。



地域を笑顔にする

おかだ けんしん
岡田 顕信 さん

File69 吉光町



吉光の一里塚
頂上には榎が植えられています

前町会長主導のもと地元企業の協力により新調された旗と掲揚ポール以前に比べ、少ない人数で旗を立てられるようになりました

に集まり、子どもの健やかな成長や交通安全を祈願するもので、今年は約15人がお祓いをしました。秋祭りに行われる獅子舞は新型コロナウイルスの影響でしばらくできていませんでしたが、今年は3年ぶりに実施したいと思っています。獅子舞は私が小学生の頃から行われており、長く受け継がれているものです。神社で行われる多くの年中行事は、神仏を敬う心を子どもたちから芽生えさせるのにとっても大切なものだと思います。こういった行事や伝統文化を若い世代にも引き継いでほしいと願っています。用水の清掃や町会運営には多くの町民が参加してくれ、その中



祭りで舞を奉納する小学生

は若い方もたくさんいます。町民の協力を得られることは大変ありがたいと思います。夏にはグラウンドゴルフ大会を計画しており、多くの町民が交流できる場をつくりたいと考えています。また私は剣道を続けており、井中学校剣道部の外部コーチや試合の審判員を務めています。大会で子どもたちが活躍している姿を観るのはとても嬉しいです。指導や審判を行うためには自身の稽古も大切で「できるようなるまでやる」をモットーに、週に2〜3回、稽古をしています。これからも自身の稽古や子どもたちへのサポートに励んでいきたいです。



伝統や文化を大切にする

みやぐち まさなお
宮口 昌尚 さん